

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国連プロジェクト・サービス機関拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 The United Nations Office for Project Services (UNOPS)					
【所管官庁担当局課・室名】 外務省国際局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 南スーダン、スーダン、ソマリア、イラク、ヨルダン、アフガニスタン、ウクライナといった紛争による影響を受けた地域において、交通インフラ整備、給水施設修復、学校や保健施設の修復、難民キャンプの警備強化、女性の自立支援事業などを実施することにより、同地域の社会の安定化を図る。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	3,303,850	30,035	-	1米ドル = 110円	62
平成26年度	1,237,720	12,760	-	1米ドル = 97円	100
平成25年度	205,000	2,500	-	1米ドル = 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 UNOPSは、治安面の問題から日本の開発援助機関による活動が限定的な地域において事業を迅速に形成し、実施しており、我が国の二国間援助を補完する観点からも極めて重要な開発パートナーである。同機関は、人道支援として行う事業が当該地域の長期的社会開発に繋がるよう配慮した案件を形成しているほか、各案件は我が国が重視するジェンダー平等にも配慮しており、本拠出金による開発効果は大きい。UNOPSは、国連機関の中で日本企業からの調達第1位の機関(39.5百万ドル)。同機関による事業に対して日本企業が販売した主なモノ・サービスは、車両、飲食品、薬剤、仮設住宅、実験用物資、デザイン、経営管理システム、金融・保険システム、エンジニアリング等。また、同機関を通じた日本の支援は、現地メディアを通じて対象国内で広報された他、UNOPS年次報告書2015年版では、ヨルダンにおけるシリア難民キャンプへの救急車配備による医療サービス供給事業が見開きカラー写真で紹介されるなど、我が国のビジビリティも十分に確保されている。					